

埼玉県公立高校入試について

1 公立高校入試変革

埼玉県公立高校入試では「高校再編」と「入試制度改革」が着実に進行し、2012年度(平成24年度)入試から入試回数が1回となりました。入試改革もいよいよ集大成といった感じですが、「受験者全員に学力検査を」という制度の確立は、入試自体が「学力重視」に向かってきたことを意味することは言うまでもありません。しかし、一方で、選抜方法の大きな変更(=相関表方式から加点方式へ)により、調査書の重要性も増しています。結果として、学力と内申のバランスが求められることになりました。日々の受験勉強が大切であることは言うまでもありませんが、公立高校の合格を勝ち取るためには、「公立入試は中学校1年生から」という認識をしっかり持って、学校生活を送らなければなりません。

2003年度入試	調査書の「各教科の評定」が「相対評価」から「絶対評価」に移行
2004年度入試	通学区制度を廃止、「各教科の評定」に1年・2年・3年の評定を併記
2005年度入試	「推薦入試」「一般入試」を廃止し「前期募集」「後期募集」に変更 「地域推薦」の廃止と「地域選抜」の実施 各高校の「求める生徒像」公開と受験生の「自己PR書」作成 前期募集における「総合問題」の導入 後期募集における「学力検査点:調査書評定」の取り扱い上限を「7:3」に変更
2010年度入試	「求める生徒像」「自己PR書」「総合問題」「小論文」を廃止 前期募集 ■ 2月中旬に5教科学力検査(募集人員は定員の80%程度) 後期募集 ■ 3月上旬に3教科学力検査(募集人員は定員の20%程度)
2012年度入試	前期・後期制から学力検査一本化へ
2017年度入試	学力検査問題に関する変更 ■ 理科・社会の試験時間拡大(50分へ) + 英語・数学の学校選択問題導入
2019年度入試	「追検査」実施 = 急病等の欠席者を対象とした学力検査

❖ 2018年度(平成30年度)埼玉県公立高校入試総括

1回入試となって7年目、全日制全体の最終実質倍率は1.18倍、普通科は1.21倍となりました。2012年度入試以降、全体1.15倍→1.17倍→1.18倍→1.18倍→1.19倍→1.19倍→1.18倍、普通科1.15→1.19倍→1.20倍→1.20倍→1.22倍→1.21倍→1.21倍と推移し、不合格者数も全日制全体で5,906名→6,919名→7,082名→7,003名→7,559名→7,328名→6,748名となっていますので、前期・後期制の頃に比べれば倍率が大幅に緩和されているとは言え、少し厳しい入試になったとも言えます。また、欠員補充数は2012年度入試以降、27校361名→23校240名→26校451名→29校404名→26校380名→26校506名→41校990名と推移し、その受験状況は、484名受験318名合格=1.52倍(最終欠員55名)→311名受験191名合格=1.63倍(最終欠員64名)→446名受験319名合格=1.40倍(最終欠員150名)→370名受験284名合格=1.30倍(最終欠員123名)→323名受験235名合格=1.37倍(最終欠員171名)→408名受験315名合格=1.30倍(最終欠員213名)→408名受験394名合格=1.04倍(最終欠員598名)となっています。不合格者数の増加にもかかわらず、最終欠員数が増加傾向にあるのは、欠員募集の受験まで進路決定を先延ばしにする精神的負担を避けたいという思いはもちろん、人気校・不人気校の格差が大きくなっているという事実を示唆しているのではないのでしょうか。公立1回入試は定着しましたが、「私立併願校選び」の重要性が増したことも間違いありません。

2 公立高校の入試制度

2019年度(平成31年度)入試

	一般募集
出願期間	2019年2月18日(月)・19日(火)
志願先変更期間	2019年2月21日(木)・22日(金)
選抜日程	2019年2月28日(木) 2019年3月 1日(金)〈一部〉
追検査	2019年3月 5日(火)
合格発表	2019年3月 8日(金)
選抜方法	5教科学力検査+調査書 特別実施項目 1) 傾斜配点 2) 面接・実技検査 3) 不登校生特別選抜 4) 帰国生特別選抜 5) 外国人特別選抜 以下継続実施 1) 理社の試験時間=各50分 2) 英数=学校選択問題あり

2018年度(平成30年度)入試

	一般募集
出願期間	2018年2月19日(月)・20日(火)
志願先変更期間	2018年2月22日(木)・23日(金)
選抜日程	2018年3月 1日(木) 2018年3月 2日(金)〈一部〉
追検査	-
合格発表	2018年3月 9日(金)
選抜方法	5教科学力検査+調査書 特別実施項目 1) 傾斜配点 2) 面接・実技検査 3) 不登校生特別選抜 4) 帰国生特別選抜 5) 外国人特別選抜 前年度からの変更点 1) 理社の試験時間=各50分 2) 英数=学校選択問題あり

❖ 選抜方法と募集人員

選抜方法がいわゆる加算方式になり、募集人員以上の合格者を出す高校が多くなっています。全日制各高校の超過人数を合計すると365名(前年度592名)にもなります。調査書点と学力検査点の合計得点で選抜しますので、同点の受験生を不合格にできないという事情があるのはもちろんですが、倍率の高い高校における「受け入れ枠への配慮」の指示もあるようです。

❖ 不登校の生徒を対象とした特別選抜について

全日制および定時制のすべての高校で実施されます。対象となるのは卒業見込みの生徒で、在学中学校長が該当すると認めた場合に、「自己申告書」を添付し出願します。第1次選抜において、学力検査の得点の合計と、調査書の学習の記録と出欠の記録以外の得点、その他の資料の得点及び自己申告書の内容により特別な選抜が行われます。全日制課程における実施状況は、以下のとおりです。

- 平成24年度一般募集 … 受験者327名、合格者240名、倍率1.36倍 ➡ 受験者の73.4%が合格
 - 平成25年度一般募集 … 受験者292名、合格者214名、倍率1.36倍 ➡ 受験者の73.3%が合格
 - 平成26年度一般募集 … 受験者326名、合格者250名、倍率1.30倍 ➡ 受験者の76.7%が合格
 - 平成27年度一般募集 … 受験者336名、合格者239名、倍率1.41倍 ➡ 受験者の71.1%が合格
 - 平成28年度一般募集 … 受験者316名、合格者239名、倍率1.32倍 ➡ 受験者の75.6%が合格
 - 平成29年度一般募集 … 受験者335名、合格者251名、倍率1.33倍 ➡ 受験者の74.9%が合格
 - 平成30年度一般募集 … 受験者309名、合格者253名、倍率1.22倍 ➡ 受験者の81.9%が合格
- なお、定時制過程の特別選抜合格率は92.5%で、全日制よりも受かりやすくなっています。

選抜基準公表の例

この形式に沿って各学校の基準が決めますので、希望する学校の選抜基準には必ず目を通しましょう。

全日制 県立〇〇高等学校(普通科)

平成31年度入学者選抜

基本方針	<p>(1) 学力検査と調査書の記録については、学力検査を重視して選抜する。 (2) 調査書の「特別活動の記録」、特に部活動・生徒会活動に積極的に取り組んだ者の選抜に配慮する。 (3) 面接を実施し、受検生の意欲・態度・適性を積極的に評価する。</p>										
選抜資料	傾斜配点を実施する場合は、この部分に該当教科を記載しています。										
	○学力検査の扱い	1年:2年:3年 各学校で定めます [500点]								
	○調査書の扱い	学習の記録の得点(1:1:2) (180点) 特別活動等の記録の得点 (50点) その他の項目の得点 (10点) [240点]								
	○その他の資料	面接 [30点]								
一般募集	●第1次選抜(60%を入学許可候補者とする) (各資料の配点) 調査書の合計点に、各学校が定めた係数を乗じて②と⑥の換算点を算出します。										
	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>①学力検査</td> <td>②調査書</td> <td>③面接</td> <td>④合計</td> </tr> <tr> <td>500点</td> <td>336点</td> <td>30点</td> <td>866点</td> </tr> </table>			①学力検査	②調査書	③面接	④合計	500点	336点	30点	866点
	①学力検査	②調査書	③面接	④合計							
500点	336点	30点	866点								
●第2次選抜(30%を入学許可候補者とする) (各資料の配点) 面接等を実施しない場合は「その他」欄に「実施しない」と記載。											
調査書の扱いの詳細	●第3次選抜(10%を入学許可候補者とする) 第〇次選抜における合計得点の一定の順位の対象に、特別活動の記録の得点で選抜する。										
	【特別活動等の記録の得点(50点)】 ○学級活動・生徒会活動 ※例えば、以下の区分により得点を加算する。 区分A 生徒会長、生徒会副会長、生徒会本部役員 区分B 委員会委員長、委員会副委員長、学校行事实行委員長 区分C 学級委員 区分D 学級係等その他評価できるもの ○部活動 ※例えば、以下の区分により得点を加算する。 区分A 全国大会出場 区分B 関東大会出場、県大会上位入賞、県選抜選手 区分C 県大会出場、地区選抜選手、格技有段者 区分D 都市大会入賞、部長、副部長、3年間部活動継続										
	【その他の項目の得点(10点)】 ○選択教科の学習の記録 ※特に顕著な活動がある場合に得点を与える。 ○総合的な学習の時間の記録 ※特に顕著な活動がある場合に得点を与える。 ○資格取得等 ※以下の資格を取得している場合に得点を与える。 英語検定・漢字検定・数学検定、TOEFL、TOEIC、珠算、硬筆・毛筆、囲碁・将棋、ワープロ検定など ○出欠の記録 ※出席状況が特に良好な場合に得点を与える。 ○地域のクラブ活動、ボランティア活動、数学オリンピック、英語スピーチコンテスト、海外派遣、表彰経歴										
その他	第3次選抜において、通学距離及び通学時間を資料とする。 地域選抜を実施しないかわりに、地域に根ざした学校づくりの趣旨をいかに通学時間・距離を資料とすることができます。また、外国人特別選抜などに関する記述もここに記載されます。										

調査書様式

(様式1)

平成31年度入学志願者調査書

(様式2)

成績及び諸活動等の記録通知書

志願先	高等学校
-----	------

第3学年 2組 1番			生徒氏名			さいたま 埼玉			さいこ 彩子				
性別		女		生年月日		平成15年4月15日生		卒業年月		平成31年3月 卒業見込			
1 各 教 科 の 学 習 の 記 録	教 科	評 定			2 選 択 教 科 の 学 習 の 記 録	学年	選択教科名	評定	3 総合的な 学習の時 間の記録				
		1年	2年	3年		1	保健体育	A					
	2	数学		1学期は「京都奈良修学旅行および体育祭の取り組み」として班別行動計画作成などを行い、2学期は「合唱行事および進路学習の取り組み」において学習を進め、グループの学習に貢献することができた。									
	国語	3	4					5	2	保健体育	A		
	社会	3	4					5	3	社会	A		
	数学	4	4	5		3	保健体育	A	4 特 別 活 動 等 の 記 録	学 級 活 動	1年	給食委員	
	理科	4	3	4		3	技術・家庭	A			2年	学級委員	
	音楽	4	4	5							3年	情報委員	
	美術	4	4	4					生徒会 活動				
	体育	4	4	5					学校 行事	H29 体育祭実行委員 H30 修学旅行実行委員			
	技家	4	4	5					その他	剣道部 部長 剣道2段 H28 新人体育大会地区大会団体3位 H30 学校総合体育大会地区大会優勝 県大会ベスト4 関東大会出場			
	英語	4	4	5					5 出欠の 記録	学年	欠席日数	欠席の主な理由	
	合計	34	35	43						1	0		
							2	0					
備 考								3	0				
								6 そ の 他	漢字検定2級/英語検定3級 H28 ゆめみの杯剣道大会団体戦準優勝 花と緑のボランティア参加 あしなが募金 校内合唱コンクール最優秀賞				

平成31年度埼玉県公立高等学校入学者選抜のために作成した調査書の内容は、上記のとおり相違ありません。

【資料A】2019年度入試主要高校選抜基準①

※「↑」「↓」は平成30年度入試との比較を表しています。

普通科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
浦和	1	1	2	180	70	70	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
大宮	1	1	2	180	90	90	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
浦和第一女子	1	1	2	180	120	35	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
市立浦和	1	1	3	225	95	95	1次選抜	60%	500	336	-	836	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
春日部	1	2	4	315	100	85	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	39%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	1%	1次上位者を「特別活動の記録」選抜				
蕨	1	1	3	225	100	10	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	37%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
越谷北	1	1	2	180	70	20	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
浦和西	1	1	2	180	50	10	1次選抜	60%	500	336	-	836	60:40
							2次選抜	38%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	2%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
川口北	1	1	2	180	50	50	1次選抜	70%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	27%	500	240	-	740	68:32
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				
越ヶ谷	1	1	3	225	80	↑20	1次選抜	60%	500	335	-	835	59:41
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
市立浦和南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	↓60%	500	↓335	-	↓835	↑60:40↓
							2次選抜	↑35%	500	↓215	-	↓715	↑70:30↓
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜+通学距離				
川口市立	1	1	2	180	60	30	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
春日部女子	1	2	3	270	40	10	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	0%					
春日部東	1	1	3	225	94	16	1次選抜	80%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	15%	500	503	-	1003	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」選抜+通学距離				
越谷南	1	1	2	180	70	↑20	1次選抜	80%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	15%	500	↑500	-	↑1000	↓50:50↑
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				
与野	1	2	3	270	76	24	1次選抜	70%	500	370	-	870	57:43
							2次選抜	30%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
草加	1	1	3	225	60	20	1次選抜	80%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	20%	500	500	-	1000	50:50
							3次選抜	0%					
南稜	1	1	3	225	75	20	1次選抜	80%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	15%	500	400	-	900	56:44
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」「その他項目」選抜				

【資料A】2019年度入試主要高校選抜基準②

※「↑」「↓」は平成30年度入試との比較を表しています。

普通科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
杉戸	1	1	2	180	50	20	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」選抜+通学距離				
川口	1	1	2	180	60	20	1次選抜	80%	500	350	廃止	↓850	59:41
							2次選抜	19%	500	600	廃止	↓1100	45:55
							3次選抜	1%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
越谷西	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	750	-	1250	40:60
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別活動の記録」選抜+通学距離				
草加南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
久喜	1	1	2	180	40	30	1次選抜	↓60%	500	↑500	-	950	↓50:50↑
							2次選抜	↑40%	500	350	-	850	59:41
							3次選抜	0%					
草加東	1	1	3	225	80	45	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	500	-	1000	50:50
							3次選抜	0%					
岩槻	1	1	2	180	40	20	1次選抜	70%	500	480	-	980	51:49
							2次選抜	↓27%	500	↓360	-	↓860	↑58:42↓
							3次選抜	↑3%	1次上位者を「特別活動」「その他」選抜				
浦和東	1	1	3	225	125	100	1次選抜	80%	500	450	廃止	↓950	53:47
							2次選抜	19%	500	540	廃止	↓1040	48:52
							3次選抜	1%	1次上位者を「特別活動」「その他」選抜				
越谷東	1	1	2	180	90	30	1次選抜	80%	500	360	-	860	58:42
							2次選抜	20%	500	600	-	1100	45:55
							3次選抜	0%					
川口東	1	1	3	225	40	20	1次選抜	80%	500	500	20	1020	50:50
							2次選抜	20%	500	345	20	865	59:41
							3次選抜	0%					
草加西	1	1	3	225	75	35	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	17%	500	750	50	1300	40:60
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
庄和	1	1	3	225	↓105	30	1次選抜	↑80%	500	↓360	50	↓910	↑58:42↓
							2次選抜	↓15%	500	↑1080	50	↑1630	↓32:68↑
							3次選抜	↓5%	2次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
三郷北	1	2	3	270	120	60	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	17%	500	900	100	1500	36:64
							3次選抜	3%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
松伏	1	2	3	270	100	30	1次選抜	80%	500	720	100	1320	41:59
							2次選抜	15%	500	400	200	1100	56:44
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
川口青陵	2	2	3	315	100	35	1次選抜	70%	500	450	↓50	↓1000	53:47
							2次選抜	25%	500	↑675	↓100	↑1275	↓43:57↑
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」「面接」選抜				
八潮南	1	1	2	180	70	30	1次選抜	70%	500	364	50	914	58:42
							2次選抜	30%	500	392	70	962	56:44
							3次選抜	0%					
八潮	1	1	2	180	75	15	1次選抜	80%	500	540	100	1140	48:52
							2次選抜	12%	500	540	200	1240	48:52
							3次選抜	8%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
三郷	1	1	3	225	80	50	1次選抜	60%	500	355	100	955	58:42
							2次選抜	40%	500	568	150	1218	47:53
							3次選抜	0%					

【資料A】2019年度入試主要高校選抜基準③

※「↑」「↓」は平成30年度入試との比較を表しています。

理数科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
大宮	1	1	2	180	90	90	1次選抜	60%	700	467	-	1167	60:40
							2次選抜	40%	700	300	-	1000	70:30
							3次選抜	0%					
越谷北	1	1	2	180	70	20	1次選抜	60%	500	335	-	835	60:40
							2次選抜	40%	500	216	-	716	70:30
							3次選抜	0%					
川口市立	1	1	2	180	60	30	1次選抜	60%	700	468	-	1168	60:40
							2次選抜	40%	700	302	-	1002	70:30
							3次選抜	0%					

外国語科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
蕨	1	1	3	225	100	30	1次選抜	60%	500	334	-	834	60:40
							2次選抜	40%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	0%					
春日部女子	1	2	3	270	40	10	1次選抜	80%	500	350	-	850	59:41
							2次選抜	20%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	0%					
越谷南	1	1	2	180	↑70	30	1次選抜	80%	600	400	-	1000	60:40
							2次選抜	20%	600	↑600	-	↑1200	↓50:50↑
							3次選抜	0%					
南稜	1	1	3	225	75	20	1次選抜	80%	600	400	-	1000	60:40
							2次選抜	20%	600	↑480	-	↑1080	↓56:44↑
							3次選抜	0%					
草加南	1	1	2	180	60	10	1次選抜	80%	500	375	-	875	57:43
							2次選抜	15%	500	250	-	750	67:33
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				

人文学科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
春日部東	1	1	3	225	58	48	1次選抜	80%	800	535	-	1335	60:40
							2次選抜	20%	800	343	-	1143	70:30
							3次選抜	0%					

総合学科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
久喜北陽	1	2	3	270	80	20	1次選抜	60%	500	500	-	1000	50:50
							2次選抜	37%	500	215	-	715	70:30
							3次選抜	3%	2次上位者を「特別活動の記録」選抜				
幸手桜	1	1	2	180	40	30	1次選抜	60%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	30%	500	500	150	1150	50:50
							3次選抜	10%	2次上位者を「特別」「他」「面」選抜※通学距離廃止				
吉川美南	1	2	3	270	70	60	1次選抜	70%	500	400	50	950	56:44
							2次選抜	25%	500	600	100	1200	45:55
							3次選抜	5%	※3次復活＝1次上位者を「特」「他」+通学距離				
戸田翔陽	1	1	2	180	40	30	1次選抜	70%	500	500	400	1400	50:50
							2次選抜	30%	500	500	400	1400	50:50
							3次選抜	0%					

文理スポーツ	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
川口市立	1	1	2	180	120	60	1次選抜	60%	500	360	50	910	58:42
							2次選抜	35%	500	500	100	1100	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別」「他」「面」選抜+通学距離				

【資料A】2019年度入試主要高校選抜基準④

※「↑」「↓」は平成30年度入試との比較を表しています。

総合技術	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
越谷総合技術	1	1	2	180	↑50	20	1次選抜	80%	500	500	50	1050	50:50
							2次選抜	20%	500	600	100	1200	45:55
							3次選抜	0%					

看護科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
常盤	1	1	2	180	30	15	1次選抜	80%	500	334	20	854	60:40
							2次選抜	20%	500	215	20	735	70:30
							3次選抜	0%					

商業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
浦和商业	1	1	2	180	40	30	1次選抜	80%	500	500	-	1000	50:50
							2次選抜	20%	500	750	-	1250	40:60
							3次選抜	0%					
岩槻商業	1	1	2	180	50	20	1次選抜	80%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	15%	500	250	100	850	67:33
							3次選抜	5%	1次上位者を「特別」「他」「面接」選抜+通学距離				
八潮南	1	1	2	180	70	30	1次選抜	70%	500	364	50	914	58:42
							2次選抜	30%	500	392	70	962	56:44
							3次選抜	0%					

工業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
春日部工業	1	1	3	225	110	40	1次選抜	80%	500	450	50	1000	53:47
							2次選抜	20%	500	600	50	1150	45:55
							3次選抜	0%					
久喜工業	1	1	2	180	100	20	1次選抜	80%	500	600	60	1160	45:55
							2次選抜	20%	500	750	60	1310	40:60
							3次選抜	0%					
三郷工業技術	1	1	3	225	100	30	1次選抜	80%	500	497	100	1097	50:50
							2次選抜	20%	500	497	100	1097	50:50
							3次選抜	0%					
浦和工業	1	1	1	135	45	20	1次選抜	80%	500	400	100	1000	56:44
							2次選抜	20%	500	400	100	1000	56:44
							3次選抜	0%					
川口工業	1	1	1	135	100	30	1次選抜	80%	500	371	100	971	57:43
							2次選抜	20%	500	265	120	885	65:35
							3次選抜	0%					

農業系	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	面接	満点	
杉戸農業	1	2	2	225	130	45	1次選抜	75%	500	500	100	1100	50:50
							2次選抜	25%	500	↓400	100	↓1000	↑56:44↓
							3次選抜	0%					

音楽科	評定比率				調査書項目		選抜の概要						比率 【学力:内申】
	①	②	③	合計	特別	他項	段階	割合	学検	内申	実技	満点	
大宮光陵	1	1	3	225	15	10	1次選抜	80%	500	500	1000	2000	50:50
							2次選抜	20%	500	500	1000	2000	50:50
							3次選抜	0%					
松伏	1	2	3	270	100	30	1次選抜	75%	500	500	630	1630	50:50
							2次選抜	20%	500	500	765	1765	50:50
							3次選抜	5%	2次上位者を「特別活動」「その他」「実技」選抜				

「調査書の評定」と「学力検査」

2005年度(平成17年度)入試より、「学力検査の得点」と「調査書の評定」の取り扱いは、それまでの4:6～6:4ではなく、3:7～7:3の範囲で学校・学科・コースごとに選べるようになりました。2010年度(平成22年度)入試以降の制度では、「学力検査の得点」に各高等学校で定める配点による「調査書の得点」および「実技検査等の得点」(実施する場合)を加えた合計得点で選抜しますが、その際、「学力検査」と「調査書」の配点比が、第1次選抜では4:6～6:4の範囲の値に、第2次選抜では3:7～7:3の範囲の値になるように決められていますので、各選抜段階において、いずれか一方を重視する制度は継続されています。公表された各高校の選抜基準の「選抜の基本方針」の欄には「学力検査」と「調査書」のどちらを重視するかが明記されていますが、多くの高校で第1次選抜6:4、第2次選抜7:3を採用していますので、学力重視傾向にあると言ってよいでしょう。

また、調査書の評定を3学年併記とする制度も継続されています。各学年評定の比重は高校、学科ごとの裁量で決められますが、例えば評定比率が1:1:3の高校の場合、 $45 \times 1 + 45 \times 1 + 45 \times 3 = 225$ 点満点となりますので、志望校の評定がどのようになっているかは必ず確認してください。自分の持ち点があまりにも低いと、受験する前から結果が見えてしまうということにもなりかねません。中3評定の比率を高くしている高校がほとんどですから、中3の1学期・2学期定期テストは、非常に大切なものとなります。

■調査書の評定

2010年度(平成22年度)入試からは、学力検査点以外も点数化される入試となりました。高校により違いはありますが、受験する前の「持ち点」となる調査書の点数が合否に大きな影響を及ぼすことは言うまでもありません。2019年度(平成31年度)入試の高校別選抜基準を見ても学力重視傾向にあり、加算方式導入時の2010年度(平成22年度)入試と比較しても、調査書の比率を下げている学校が多く見受けられます。

さて、ここで通知票の評定によって、どれくらい差が生じるのかを確認しておきましょう。評定の異なるA君～E君がいます。便宜上、それぞれが3年間同じ評定だったと仮定し、各高校の選抜基準に基づいて「学習の記録の得点」をそれぞれ算出してみると、下表のようになります。

選抜段階	越谷北[1:1:2]		越ヶ谷[1:1:3]		越谷南[1:1:2]		草加[1:1:3]		越谷西[1:1:2]	
	1次	2次	1次	2次	1次	2次	1次	2次	1次	2次
各学校の係数	1.24	0.80	1.03	0.66	1.24	1.85	1.10	1.64	1.50	3.00
A君 評定39	193	125	201	129	193	289	215	320	234	468
B君 評定36	179	115	185	119	179	266	198	295	216	432
C君 評定33	164	106	170	109	164	244	182	271	198	396
D君 評定30	149	96	155	99	149	222	165	246	180	360
E君 評定27	134	86	139	89	134	200	149	221	162	324
中3評定価値	2.48	1.60	3.09	1.98	2.48	3.70	3.30	4.92	3.00	6.00

評定値ではわずか3点ずつの差しかないように思うかもしれませんが、3年間の積み重ねに評定比率と係数を乗じると、こんなにも差が開いてしまうわけですね。上表の「中3評定価値」というのは、3年次の評定1ポイントあたりの得点です。学校の係数によって異なってきますが、学力検査の小問配点が2点～6点であることを鑑みれば、3年次の評定1ポイントは学力検査問題1問分となり、学力重視校では配点の低い記号問題、調査書重視校では配点の高い記述問題と同等の価値を有すると言えるのではないのでしょうか。また、オール4のB君とオール3のE君では、第1次選抜において50点前後の差が生じていますが、学力検査の各科目平均が50点前後ですので、E君はB君に対して約1教科分のハンデを背負って入試本番に臨むことになります。この差は、学力検査で簡単に挽回できるというものではありません。やはり、**学力と調査書点のバランス**が受験生に求められるようになったということでしょう。

■その他項目の得点

「選択教科の学習の記録」「総合的な学習の時間の記録」などが評価の対象ですが、ここで最も大切なのは各種検定の「資格取得」でしょう。ただし、学校によって評価基準が異なりますので、志望校の選抜基準は確認しておかなければなりません。「特別活動の記録の得点」ほど大きな配点ではありませんが、それでも通知票の評定と同じく、自分の「持ち点」となるものですから、資格取得に向けた努力をすることは必要です。「どうせ合格できない」と最初から諦めるのではなく、「志望校合格への一歩」として積極的にチャレンジするようにしてください。

【資料B】主要高校の検定評価対象

	英語検定				漢字検定					数学検定				その他
	4	3	P2	2	4	3	P2	2	P1	4	3	P2	2	
浦和	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	囲碁・将棋4段以上
大宮	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	
浦和一女	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
市立浦和	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	武道初段以上
春日部	-	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	囲碁・将棋4段以上
蕨	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	○	剣道・柔道初段以上
越谷北	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	
浦和西	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	
川口北	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
越ヶ谷	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	
市立浦和南	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	○	新体力テストA
川口市立	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
春日部女子	-	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	
春日部東	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
越谷南	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
草加	?	○	○	○	?	○	○	○	○	?	○	○	○	
杉戸	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
越谷西	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	○	
草加南	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
草加東	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	剣道・空手初段以上
越谷東	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	剣道・柔道初段以上
川口東	?	○	○	○	?	○	○	○	○	?	○	○	○	剣道・柔道段位
草加西	○	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	珠算・暗算3級以上
三郷北	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	毛筆検定4級以上
松伏	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	
八潮南	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	珠算・暗算検定
吉川美南	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	珠算・暗算検定
八潮	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	○	○	○	珠算1級以上
三郷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	剣道・柔道初段以上

■学力検査

2010年度(平成22年度)から学力検査は100点満点になりました。県教育局によれば、「思考力、判断力、表現力などを、十分に把握できるよう配点に差を設け、学力検査の結果に反映させるため」とのこと。また、出題の基本方針に、「出題の内容、出題数に配慮するとともに、記述による解答を求めるよう配慮する」とありますが、実際に学力検査問題は基礎から応用まで幅広く出題され、記述問題を中心に構成されています。また、記述問題に対しては、県教委による「学力検査の採点の手引き」にあるように、部分点を設け点差が開くような工夫がなされています。参考までに、ここ7年間の平均点は以下のとおりです。記述問題の増加に加え、新学習指導要領に基づいた出題もあり、入試問題は全体的に難しくなっていますが、難問が多く、平均点も低いと、得点差がつきにくく、努力が報われない入試になってしまいます。そうすると、調査書評定が低い生徒には不利でしょう。

一般	国語	数学	英語	社会	理科	合計
24年度	59.7	36.5	44.1	48.7	49.0	237.9
25年度	65.6	42.4	53.7	50.3	63.4	275.5
26年度	64.0	45.0	45.0	49.5	46.1	249.6
27年度	56.0	48.1	55.6	50.3	49.5	259.1
28年度	57.9	51.1	57.4	63.7	39.2	269.4

2017年度(平成29年度)入試以降の改善

- 理科・社会の後半の問題に白紙解答が多い。
 ◎理科・社会の検査時間を3科と同じ50分に拡大する。
- 数学に極端に正答率の低い問題が多い。
 ◎英語・数学に進学校向けの「学校選択問題」を用意する。
 ◎「共通問題」から極端な難問を外し、基礎的な内容とする。

	学力検査問題					選択問題	
	国語	数学	英語	社会	理科	数学	英語
29年度	53.3	44.4	52.0	60.6	48.5	43.2	71.9
30年度	52.8	44.0	55.9	55.9	51.7	43.7	58.9

[分析①]社会やや難化●過去2年60点超え

[分析②]英語選択問題難化●29年度入試で70点超え

[展望①]英語選択問題はもう少し難しくてもよいかと…

[展望②]数学は選択・共通問題ともやや易くなるか!?

<「学校選択問題」を採用する高校>

浦和、浦和一女、市立浦和、浦和西、大宮、蕨、川口北、川越、川越女子、川越南、和光国際、所沢、所沢北、熊谷、熊谷女子、熊谷西、春日部、春日部女子(2019年度初参加)、不動岡、越ヶ谷、越谷北(以上21校)

■学力検査点:調査書点

選抜方法が変更となった2010年度(平成22年度)入試においては、各学校とも手探りの状態だったので、全体的には例年よりも調査書のウエイトが大きかったと言えるかもしれません。しかし、絶対評価には疑問の声が多くあり、2011年度(平成23年度)入試以降の選抜基準を通覧しても、「学力重視への軌道修正」という印象を受けます。

ちなみに、2018年度(平成30年度)入試に関して、おもな普通科高校を分類してみると、以下のようになります。

2019年度入試第1次選抜			
学力:内申 = 6:4		学力:内申 = 5:5	
<input type="checkbox"/> 浦和	<input type="checkbox"/> 浦和一女	<input type="checkbox"/> 久喜	<input type="checkbox"/> 岩槻
<input type="checkbox"/> 大宮	<input type="checkbox"/> 市立浦和	<input type="checkbox"/> 浦和東	<input type="checkbox"/> 川口東
<input type="checkbox"/> 春日部	<input type="checkbox"/> 蕨	<input type="checkbox"/> 草加西	<input type="checkbox"/> 三郷北
<input type="checkbox"/> 越谷北	<input type="checkbox"/> 浦和西	<input type="checkbox"/> 草加西	<input type="checkbox"/> 川口青陵
<input type="checkbox"/> 川口北	<input type="checkbox"/> 越ヶ谷	<input type="checkbox"/> 八潮	<input type="checkbox"/> 宮代
<input type="checkbox"/> 浦和南	<input type="checkbox"/> 川口市立	<input type="checkbox"/> 栗橋北彩	<input type="checkbox"/> 岩槻北陵
<input type="checkbox"/> 春日部女子		<input type="checkbox"/> 幸手桜	<input type="checkbox"/> 戸田翔陽
<input type="checkbox"/> 春日部東	<input type="checkbox"/> 越谷南		
<input type="checkbox"/> 与野	<input type="checkbox"/> 草加		
<input type="checkbox"/> 南稜	<input type="checkbox"/> 杉戸		
<input type="checkbox"/> 川口	<input type="checkbox"/> 越谷西		
<input type="checkbox"/> 草加南	<input type="checkbox"/> 草加東		
<input type="checkbox"/> 草加東	<input type="checkbox"/> 越谷東		
<input type="checkbox"/> 庄和	<input type="checkbox"/> 八潮南		
<input type="checkbox"/> 三郷	<input type="checkbox"/> 吉川美南		
		学力:内申 = 4:6	
		<input type="checkbox"/> 松伏	

⇒

2019年度入試第2次選抜			
学力:内申 = 7:3		学力:内申 = 5:5	
<input type="checkbox"/> 浦和	<input type="checkbox"/> 浦和一女	<input type="checkbox"/> 春日部東	<input type="checkbox"/> 越谷南
<input type="checkbox"/> 大宮	<input type="checkbox"/> 市立浦和	<input type="checkbox"/> 草加	<input type="checkbox"/> 川口
<input type="checkbox"/> 春日部	<input type="checkbox"/> 蕨	<input type="checkbox"/> 草加東	<input type="checkbox"/> 浦和東
<input type="checkbox"/> 越谷北	<input type="checkbox"/> 浦和西	<input type="checkbox"/> 越谷東	<input type="checkbox"/> 八潮
<input type="checkbox"/> 川口北	<input type="checkbox"/> 越ヶ谷	<input type="checkbox"/> 三郷	<input type="checkbox"/> 幸手桜
<input type="checkbox"/> 浦和南	<input type="checkbox"/> 川口市立	<input type="checkbox"/> 吉川美南	<input type="checkbox"/> 戸田翔陽
<input type="checkbox"/> 春日部女子	<input type="checkbox"/> 与野		
<input type="checkbox"/> 杉戸	<input type="checkbox"/> 草加南		
学力:内申 = 6:4		学力:内申 = 4:6	
<input type="checkbox"/> 南稜	<input type="checkbox"/> 久喜	<input type="checkbox"/> 越谷西	<input type="checkbox"/> 草加西
<input type="checkbox"/> 岩槻	<input type="checkbox"/> 川口東	<input type="checkbox"/> 三郷北	<input type="checkbox"/> 三郷北
<input type="checkbox"/> 川口東	<input type="checkbox"/> 松伏	<input type="checkbox"/> 川口青陵	<input type="checkbox"/> 宮代
<input type="checkbox"/> 八潮南	<input type="checkbox"/> 八潮南	<input type="checkbox"/> 栗橋北彩	<input type="checkbox"/> 岩槻北陵
		<input type="checkbox"/> 庄和(3:7)	

通学距離および通学時間

「地域に根ざした学校づくり」のため、第3次選抜で「通学距離および通学時間」を点数化する学校があります。

<「通学距離および通学時間」を選抜の資料とするおもな高校>

岩槻商業, 岩槻北陵, 春日部東(普), 栗橋北彩, 越谷西, 庄和, 白岡, 杉戸, 松伏(普), 三郷北, 宮代, 八潮, 吉川美南, 鷺宮, 川口市立(文理スポーツ), 市立浦和南など

面接試験・実技試験

2009年度(平成21年度)まで全校で実施されていた面接試験(または実技試験)は各高校の選択実施となり、実施の場合には点数化され合計の際に加算されます。なお、2018年度(平成30年度)入試における面接実施校は72校(昨年度74校)ですが、選抜基準を見ると、上位校(学力重視校)は面接を実施しない傾向にあり、普通科下位層や専門学科に面接採用校が集中していると言えそうです。面接試験=人物評価として位置づけた結果だと思いますが、中には驚くほど高得点を配している高校もありますので注意してください。

普通科	1次選抜	2次選抜	3次選抜	専門学科	1次選抜	2次選抜	3次選抜
岩槻北陵	100	200	○	岩槻商業	100	100	○
浦和東	※面接廃止			浦和工業	100	100	-
川口	※面接廃止			大宮工業	100	100	-
川口青陵	50	100	○	大宮商業	50	50	-
川口東	20	20	-	春日部工業	50	50	-
栗橋北彩	200	200	○	川口工業	100	120	-
庄和	50	50	○	久喜工業	60	60	-
白岡	120	240	○	越谷総合技術	50	100	-
草加西	50	50	○	杉戸農業	100	100	-
鳩ヶ谷	50	40	○	常盤	20	20	-
松伏	100	200	○	三郷工業技術	100	100	-
三郷	100	150	-	八潮南(商・情)	50	70	-
三郷北	50	100	○	幸手桜	100	150	○
宮代	100	100	○	吉川美南	50	100	×
八潮	100	200	○	戸田翔陽	400	400	-
八潮南	50	70	-	○ … 3次選抜において面接結果が評価対象になる。 × … 3次選抜において面接は評価対象にならない。 - … 3次選抜は実施されない。			
鷺宮	100	100	○				
川口市立(文理)	50	100	○				

入試選抜方法イメージ

- 2019年度越谷西高校入学者選抜の場合 -

[第1次選抜] 募集人員の80%決定

⇒[学]500+[調]375

学力検査点					調査書点		
数	英	国	理	社	評定	特	他

875点満点

[第2次選抜] 募集人員の15%決定

⇒[学]500+[調]750

学力検査点					調査書点		
数	英	国	理	社	評定	特	他

1250点満点

[第3次選抜] 募集人員の5%決定

⇒第1次選抜一定順位者を対象

特別活動の記録	通学距離
---------	------

満点非公表

※「特別活動の記録」に特長があっても、第1次選抜で一定順位内に入らなければ、選抜の対象にはなりません。

募集人員と倍率

2009年度(平成21年度)まで高騰していた前期募集倍率は、2010年度(平成22年度)入試より、前期募集で8割程度を合格させることによって数値の上では大幅に緩和(2009年度平均倍率2.88倍・普通科3.78倍 → 2010年度平均倍率1.49倍・普通科1.65倍 → 2011年度平均倍率1.44倍・普通科1.53倍)、一方、後期募集は2010年度(平成22年度)以降厳しい入試となりました(2009年度平均倍率1.32倍・普通科1.34倍 → 2010年度平均倍率1.78倍・普通科1.79倍 → 2011年度平均倍率1.57倍・普通科1.57倍)。2012年度(平成24年度)入試から1回入試となり、この7年間の平均倍率は1.15倍 → 1.17倍 → 1.18倍 → 1.18倍 → 1.19倍 → 1.19倍 → 1.18倍、普通科倍率も1.15倍 → 1.19倍 → 1.20倍 → 1.20倍 → 1.22倍 → 1.21倍 → 1.21倍でしたので、問題視されていた高倍率状態は解消されています。

不景気や公立高校授業料無償化の影響でしょうか、公立志望者の割合が高いことは事実です。一方、1回入試となり、人気校・不人気校の差がはっきりしてきていることも否めません。安全志向型の受験傾向のようにも感じられますが、埼玉県の授業料軽減補助制度が浸透してきたこともあり、「公立の二極化」は今後も進行していくのではないのでしょうか。そして、将来的には、「選ばれない学校」が再編・統廃合の対象になっていくのです。

【資料C】2018年度入試高倍率校

《普通科系》				《職業・芸術科系》	
01) 川口市立[理数]	2.28倍	17) 川越南	1.48倍	01) 上尾[商業]	1.39倍
02) 川口市立[文理]	2.14倍	19) 南稜[外国]	1.46倍	浦和商业[情報処理]	1.39倍
03) 大宮[理数]	2.10倍	20) 蕨[外国]	1.45倍	03) 大宮光陵[美術]	1.38倍
04) 松山[理数]	2.00倍	大宮	1.45倍	04) 川越工業[デザイン]	1.34倍
05) 春日部女子[外国]	1.76倍	22) 越谷北[理数]	1.43倍	05) 鳩ヶ谷[情報処理]	1.32倍
市立大宮北[理数]	1.76倍	23) 川口北	1.42倍	06) 大宮光陵[書道]	1.29倍
07) 越ヶ谷	1.68倍	24) 草加南	1.41倍	07) 川越工業[建築]	1.27倍
08) 市立浦和	1.67倍	25) 浦和	1.38倍	08) 常盤[看護]	1.23倍
09) 所沢北[理数]	1.65倍	坂戸[外国]	1.38倍	久喜工業[情報技術]	1.23倍
10) 南稜	1.59倍	27) 川越女子	1.37倍	鳩ヶ谷[園芸デザイン]	1.23倍
11) 川口市立	1.58倍	28) 伊奈学園	1.36倍	11) 熊谷工業[建築]	1.22倍
12) 浦和西	1.57倍	29) 春日部	1.35倍	12) 越谷総合技術[食物調理]	1.21倍
13) 不動岡[外国]	1.55倍	草加南[外国]	1.35倍	市立川越[国際経済]	1.21倍
14) 和光国際[外国]	1.54倍	31) 越谷北	1.34倍	14) 杉戸農業[園芸]	1.20倍
所沢北	1.54倍	32) 与野	1.32倍	大宮光陵[音楽]	1.20倍
16) 鳩ヶ谷	1.51倍	33) 不動岡	1.30倍	大宮東[体育]	1.20倍
17) 所沢	1.48倍	和光国際	1.30倍	芸術総合[映像芸術]	1.20倍

さて、上表から2018年度(平成30年度)入試を振り返ると、以下のことが言えます。

- ① 普通科系で1.5倍を超えた学校は、2017年度入試の18校から16校に微減となりました
- ② 普通科系で1.3倍を超えた学校は、2017年度入試の48校から34校に大幅減となりました。
- ③ 普通科系では、理数科が高い人気となっています。
- ④ 職業・芸術系では、建築・デザイン系の学科が人気上昇傾向にあったと言えるでしょう。
- ⑤ 職業・芸術系では、近年人気傾向であった情報技術が停滞し、情報処理の人気が高まりました。
- ⑥ 職業・芸術系では、大宮光陵の芸術系学科の躍進が目につきました。
- ⑦ 新校である川口市立の人気が目立つ一方、高倍率常連校の蕨・浦和南・越谷南が落ち着いた入試でした。

【資料D】2018年度入試における倍率の推移-普通科の場合-

※○は前年比

普通科	募集人員	希望者数	倍率1 12/15	出願者数	倍率2 2/20	志願変更	倍率3 2/23	出願確定	取消欠席	定員超過	倍率4 3/10
浦和	358	551	01.54	504	01.41	-1	01.41	503	-1	+6	01.38
大宮	0318	576	01.81	484	01.52	-6	01.50	478	-5	+9	01.45
浦和一女	0358	450	01.26	448	01.25	0	01.25	448	0	+7	01.23
市立浦和	0280	626	02.24	491	01.75	-13	01.71	478	0	+7	01.67
春日部	0358	412	01.15	490	01.37	+1	01.37	491	0	+6	01.35
蕨	0357	500	01.40	392	01.10	+21	01.16	413	0	0	01.16
越谷北	0318	510	01.60	433	01.36	-2	01.36	431	0	+4	01.34
浦和西	0358	742	02.07	578	1.61	-5	01.60	573	0	+6	01.57
川口北	0358	511	01.43	524	01.46	-8	01.44	516	0	+5	01.42
越ヶ谷	318	681	02.14	566	01.78	-21	01.71	545	0	+7	01.68
市立浦和南	320	534	01.67	395	01.23	+1	01.24	396	-1	+4	01.22
春日部東	318	368	01.16	351	01.10	+9	01.13	360	-1	0	01.13
春日部女子	278	294	01.06	327	01.18	+1	01.18	328	0	+8	01.15
浦和北	318	339	01.07	362	01.14	-4	01.13	358	0	+4	01.11
川口市立	320	701	2.19	515	1.61	-8	1.58	507	0	0	1.58
川口市立[文]	120	200	1.67	281	2.34	-22	2.16	259	0	+1	2.14
越谷南	357	445	01.25	414	01.16	-4	01.15	410	-2	+4	01.13
与野	358	554	01.55	478	01.34	0	01.34	478	0	+5	01.32
杉戸	318	325	01.02	315	00.99	+6	01.01	321	0	0	01.01
南稜	318	622	01.96	524	01.65	-11	01.61	513	-1	+4	01.59
草加	358	511	01.43	430	01.20	0	01.20	430	-1	+5	01.18
越谷西	318	434	01.36	391	01.23	-10	01.20	381	0	+4	01.18
川口	0318	533	01.68	397	01.25	+11	01.28	408	0	+4	01.27
久喜	278	185	00.67	275	00.99	+6	01.01	281	0	+3	01.00
岩槻	278	318	01.14	318	01.14	+3	01.15	321	0	+4	01.14
浦和東	318	328	01.03	324	01.02	+13	01.06	337	0	0	01.06
草加南	238	370	01.55	358	01.50	-11	01.46	347	0	+8	01.41
越谷東	278	299	01.08	348	01.25	-1	01.25	347	0	+3	01.23
大宮東	0278	273	00.98	313	01.13	-13	01.08	300	0	0	1.08
草加東	318	489	01.54	424	01.33	-4	01.32	420	0	+7	01.29
庄和	199	198	00.98	236	01.19	-2	01.18	234	0	+4	01.15
鷲宮	0238	319	01.34	313	01.32	-17	1.24	296	0	+21	01.14
川口東	0278	342	01.23	348	01.23	-3	01.22	340	-1	+3	01.21
三郷北	278	225	00.81	256	00.92	+13	00.97	269	0	-9	01.00
松伏	119	139	01.17	133	01.12	+4	01.15	137	0	+1	01.14
白岡	0199	126	00.63	189	0.95	+12	01.01	201	-2	0	01.01
川口青陵	0318	352	01.11	411	01.29	-18	01.24	393	0	+4	01.22
草加西	238	286	01.20	267	01.12	+9	01.16	276	-1	+3	01.14
宮代	0199	179	00.90	224	01.13	-17	01.04	207	0	0	01.04
八潮	159	115	00.72	170	01.07	0	01.07	170	-1	+1	01.06
八潮南	79	92	01.16	77	00.97	0	00.97	77	0	-2	01.00
三郷	238	184	00.77	219	00.92	+16	00.99	235	0	-3	01.00
栗橋北彩	238	153	00.64	207	00.87	+11	00.92	218	-2	-22	01.00
岩槻北陵	198	146	00.74	175	00.88	+3	00.90	178	-1	-21	01.00

【資料D】2018年度入試における倍率の推移-専門学科の場合-

専門学科		募集	希望	倍率1 12/15	出 願	倍率2 2/20	変 更	倍率3 2/23	確 定	欠 席	超 過	倍率4 3/10
大宮	理数	40	90	02.25	92	02.30	-3	02.23	89	-1	+2	02.10
越谷北	理数	40	58	01.45	59	01.48	-1	01.45	58	-1	0	01.43
市立大宮北	理数	40	61	01.53	78	01.95	-5	01.83	73	-1	+1	01.76
川口市立	理数	40	70	1.75	94	2.35	-3	2.28	91	0	0	2.28
蕨	外国語	40	47	01.18	61	01.53	-3	01.45	58	0	0	01.45
春日部女子	外国語	40	38	00.95	74	01.85	-2	01.80	72	0	+1	01.76
越谷南	外国語	40	33	00.83	50	01.25	-4	01.15	46	0	0	1.15
南稜	外国語	40	60	01.50	59	01.48	+1	01.50	60	0	+1	01.46
草加南	外国語	40	56	01.40	61	01.53	-7	1.35	54	0	0	01.35
春日部東	人文	40	23	00.58	29	00.73	+1	00.75	30	0	0	00.75
幸手桜	総合	239	148	00.62	183	00.77	+22	00.86	205	0	-34	1.00
吉川美南	総合	119	141	01.18	169	01.42	-33	01.14	136	0	+2	01.12
常盤	看護	80	123	01.54	104	01.30	-3	01.26	101	0	+2	01.23
越谷総技	電子機械	79	56	00.71	55	00.70	+5	00.76	60	0	-16	00.95
	情報技術	40	52	01.30	43	01.08	0	01.08	43	0	0	01.08
	流通経済	40	16	00.40	28	00.70	-1	00.68	27	0	-13	1.00
	情報処理	40	39	00.98	35	00.88	+2	00.93	37	0	-3	01.00
	服飾デザイン	40	26	00.65	26	00.65	+1	00.68	27	0	-13	01.00
	食物調理	39	67	01.72	47	01.21	0	01.21	47	0	0	01.21
三郷工技	機械	79	78	00.99	80	01.01	0	01.01	80	0	0	01.01
	電子機械	40	21	00.53	39	00.98	-3	00.90	36	0	-1	00.92
	電気	39	36	00.92	47	01.21	-7	01.03	40	0	0	01.03
	情報技術	40	43	01.08	38	00.95	0	00.95	38	0	-2	01.00
	情報電子	40	38	00.95	42	01.05	-1	01.03	41	0	0	01.03
春日部工業	機械	79	117	01.48	82	1.04	0	1.04	82	0	0	1.04
	建築	80	89	01.11	101	01.26	-3	01.23	98	0	+3	01.18
	電気	80	76	00.95	74	00.93	+2	00.95	76	0	0	00.95
浦和工業	電気	79	40	00.51	52	00.66	0	00.66	52	-1	-27	00.98
	機械	79	59	00.75	68	00.86	+5	00.92	73	0	-6	01.00
	設備システム	40	28	00.70	38	00.95	0	00.95	38	0	-2	01.00
	情報技術	40	49	01.23	41	01.03	+1	01.05	42	-1	0	01.03
川口工業	機械	80	91	01.14	87	01.09	+2	01.11	89	0	0	01.11
	電気	79	59	00.75	66	00.84	+4	00.89	70	0	-2	00.91
	情報通信	79	60	00.76	74	00.94	+1	00.95	75	0	-3	00.99
杉戸農業	生物生産技	40	63	01.58	40	01.00	+3	01.08	43	0	0	01.08
	園芸	40	47	01.18	51	01.28	-2	01.23	49	0	+1	01.20
	造園	39	35	00.90	48	01.23	-6	01.08	42	0	0	01.08
	食品流通	40	52	1.30	45	01.13	-2	01.08	43	0	0	01.08
	生活技術	40	51	01.28	50	01.25	-3	01.18	47	0	+1	1.15
	生物生産工	40	24	00.60	32	00.80	+1	00.83	33	0	0	00.83
岩槻商業	商業	119	79	00.66	77	00.65	+14	00.76	91	0	-28	00.99
	情報処理	80	73	00.91	81	01.01	+1	01.03	82	0	0	01.03
八潮南	商業	79	51	00.65	64	00.81	+4	00.86	68	0	-11	01.00
	情報処理	80	69	00.86	75	00.94	-1	00.93	74	0	-6	01.00

3 公立高校の試み

特 色	おもな学校
単位制	浦和, 浦和北, 市立浦和南, 久喜北陽, 栗橋北彩, 越ヶ谷, 誠和福祉, 不動岡, 幸手桜, 戸田翔陽, 吉川美南, 芸術総合 ※伊奈学園総合=総合選択制
二期制	浦和工業, 浦和一女, 大宮, 川口北, 栗橋北彩, 越ヶ谷, 不動岡, 蕨, 常盤, 芸術総合
授業時間変更	浦和一女(65分), 大宮(65分), 春日部(65分), 川越女子(65分), 越ヶ谷(65分), 不動岡(65分), 蕨(65分), 春日部東(55分), 川口北(55分), 市立浦和南(55分)
7時間授業実施	市立浦和(週1回8時限), 川越(週2回), 久喜(週2回, 特進週4回), 久喜北陽(週2回), 越谷北(週2回), 杉戸(週2回)
隔週土曜日授業	浦和, 浦和一女, 浦和西, 市立浦和, 大宮, 市立大宮北, 川越, 川越女子, 越谷北, 春日部, 春日部女子, 不動岡, 川口北
特進クラス設置	春日部東(人文科=私立文系特進), 久喜, 八潮(特伸クラス)
中高一貫教育	伊奈学園総合, 市立浦和 ➡市立大宮西=「大宮国際中等教育学校」へ(平成31年度)
5年一貫教育	常盤=高校(看護科)3年間+看護専攻科2年間
高大連携教育	<input type="checkbox"/> 浦和一女=放課後に埼玉大学講義聴講(単位認定) <input type="checkbox"/> 浦和西=放課後に埼玉大学講義聴講(単位認定) <input type="checkbox"/> 浦和北=埼玉大学大学院理工学研究科夏季インターンシップ(実験, ロボット学習) <input type="checkbox"/> 大宮北(理数科)=埼玉大学名誉教授をアドバイザーとし, 土曜日に研究者の特別講義 <input type="checkbox"/> 川口北=埼玉大学の高大連携講座聴講
専門教育連携	<input type="checkbox"/> 川口=川口市立看護専門学校(講義聴講, 単位認定)「彩の国アカデミー」 <input type="checkbox"/> 川口工業=川口商工会議所「川口若手ものづくり人材育成プロジェクト」 <input type="checkbox"/> 川口東=川口市立戸塚綾瀬小学校へ先生のアシスタントとして希望者を派遣 <input type="checkbox"/> 越谷総合技術=「基本情報技術者試験」(国家試験)午前試験免除認定校 <input type="checkbox"/> 草加西=草加かがやき特別支援草加分校併設
文科省指定校	■スーパーサイエンスハイスクール =春日部(27年度), 大宮北(28年度) ■スーパーグローバルハイスクール =浦和(26年度), 不動岡(27年度), 浦和一女(28年度) ■スーパープロフェッショナルハイスクール =常盤(26年度)

2018年度(平成30年度)入試変更点

- ① 新規開校 川口市立高校=市立川口+市立川口総合+市立県陽
- ② 募集停止 市立大宮西➡中等教育学校への再編整備のため

2019年度(平成31年度)入試変更点

- ① 募集人員増 鷺宮[240⇒280]
- ② 募集人員減 大宮東(普)[280⇒240], 川口青陵[320⇒280], 越谷総合技術(電子機械)[80⇒40], 越谷南(普)[360⇒320], 幸手桜[240⇒200], 蕨(普)[360⇒320], 市立浦和[360⇒320], 大宮北(普)[320⇒280]

首都圏私立高校入試について

1 私立高校入試概況

首都圏の私立高校入試は、埼玉県公立高校の入試制度改革と密接に関連しながら推移しています。埼玉県私立高校の場合、埼玉県公立高校の前期・後期制への移行と同時に、従来の推薦入試(1月22日～)・一般入試(2月1日～)という入試区分が、前期入試(1月22日～)・後期入試(2月10日～)という区分に変更されました。しかし、当初から後期入試は形骸化し、2019年度(平成31年度)入試に関する埼玉県私立中学高等学校協会の申し合わせでも、1月22日を「入学者選抜の開始日」として規定するにとどまっています。千葉県私立高校の前期選抜は1月17日、東京都私立高校の単願推薦および都外生対象の併願推薦も、例年どおり1月22日に開始となる見込みですので、2019年度(平成31年度)私立高校入試も「1月入試」が中心となるでしょう。

埼玉県私立高校

【前期入試】1月22日～

【後期入試】規定なし ➡公立高校の合格発表後に入試を設定する学校もあります。

東京都私立高校

【推薦入試】1月22日～ ➡この期間に実施される「併願推薦」は都外生対象の入試です。

【併願優遇】2月10日～ ➡都内生を対象とした入試です。

【一般入試】2月10日～

千葉県私立高校

【前期選抜】1月17日～ ➡募集人員の割合を見ても、前期中心の入試となっています。

【後期選抜】2月5日～

埼玉県公立高校入試が2012年度(平成24年度)入試から3月初旬に1回だけの実施となり、公立中学校側からも入試遅延化の要請があるようですが、隣接都県の私立高校入試日程と絡む問題ですので、容易には実現できないと思われます。既に埼玉県私立高校の入試解禁日は1月22日に定められましたが、入試遅延化の要請は、そもそも公立中学校の3学期授業時間の確保が目的ですので、公立高校の入試だけが3月にずれ込んでも、あまり効果はありません。現状では、私立高校入試＝1月下旬、公立高校入試＝3月初旬と、2月は埼玉県内の大部分の受験生にとって入試のない期間となり、入試が間延びしてしまう感も否めません。この期間、受験生にとってはモチベーションをいかに維持するかが課題となるでしょう。

2 私立高校の入試制度

➤ 推薦入試 ◀

■ 単願

私立高校第1志望の場合の推薦入試です。合格したらすぐに入学手続きをしなければなりません。

■ 併願

公立高校第1志望の場合の推薦入試です。合格発表後、公立高校の入試結果が判明するまで、入学手続きを保留できます。ただし、延納手続きが必要な場合もありますので、ご注意ください。

併願(推薦)は単願(推薦)よりも推薦基準が高く、一般的に試験内容も難しくなっています。また、単願(推薦)、併願(推薦)とも定員を超えた場合や当日の点数が極端に低い場合には不合格になりますので、いずれの推薦においても、100パーセント合格できるという保証は原則ありません。したがって、たとえ推薦入試であっても他の私立高校を受験したり、同じ高校のスライド合格制度(下位のコースへの合格)などを利用する必要があります。

埼玉県では、単願・併願とも1月中に入試が実施されます。東京都私立高校の推薦入試や千葉県私立高校の前期選抜も1月に実施されています。したがって、受験生は1月中に合格校を確保するつもりでなければいけません。2月入試まで視野に入れるのは、慶應義塾志木、立教新座などの最難関校や推薦制度のない高校の一般入試を受験したり、1月中に合格を確保できなかった併願校を再受験したりする場合に限られるでしょう。なお、推薦基準(受験の目安)にまったく届かない場合、通知票に「1」がある場合、欠席日数が著しく多い場合などは、一般入試しか受験させてもらえないという可能性もありますのでご注意ください。

【2019年度入試における私立高校延納手続条件】

＜延納手続を必要としない埼玉県内高校＞

開智、開智未来、春日部共栄、川越東、秀明英光、淑徳与野、城北埼玉、西武台、星野、細田学園

＜延納手続を必要とする埼玉県内高校＞ ※()内は延納手続金の額

浦和学院(¥10,000)、浦和実業(¥20,000)、浦和麗明(¥10,000)、叡明(¥10,000)、大宮開成(¥5,000)、埼玉栄(¥10,000)、栄北(¥10,000)、栄東(¥20,000)、昌平(¥10,000)、西武学園文理(¥20,000)、獨協埼玉(¥30,000)、花咲徳栄(¥10,000)、武南(¥20,000)

※東京都内の私立高校の併願推薦では延納手続金はかかりません。他県でも延納手続金不要の高校が増えています。

学校説明会・個別相談

推薦入試と切り離すことができないのが「個別相談」です。従来、中学校の先生と私立高校との間で行われた「入試相談」は1998年度(平成11年度)入試で解消されました。そのため、現在ほとんどの私立高校で、推薦の目安や合格の可能性を保護者・受験生と直接相談する機会が設定されています。単願も併願も、推薦入試はこの「個別相談」をしないと受験することができません。最近では「確約」に近い言葉を用いる学校もありますので、受験する可能性がある場合は必ず参加してください。なお、個別相談＝面接試験という意味合いもありますので、しつたりとした服装・態度で臨むことが大切です。また、「学校説明会」はその学校を知る絶好の機会ですので、こちらも忘れずに参加しておきましょう。

➤ 一般入試 ◀

当日の試験結果のみで合否を判定するのが一般入試です。最難関校や併願推薦制度を持たない高校は一般入試を受験することになります。それ以外の私立高校は単願や併願の推薦枠でほとんどの生徒を募集してしまいますから、一般入試の募集枠は少なく、簡単には合格できません。したがって、私立高校の一般入試を受験する場合には、必ず複数の高校を受験する必要があります。

私立高校が第1志望の場合

■ 第1志望校

■ 第1志望校と同程度の高校および実力相応の高校(併願推薦を含む) …………… 2～3校

公立高校が第1志望の場合

■ 第1志望校と同程度の高校(併願推薦を含む) …………… 1～2校

■ 実力相応の高校(併願推薦入試) …………… 1～2校

【資料E】主要私立高校2019年度推薦基準一覧①

※基準緩和措置などもあります。

私立高校		学科・コース	単願				併願				
			3科	5科	9科	偏差	3科	5科	9科	偏差	
埼玉県	浦和学院	共	グローバル			40	64			42	66
			T特			40	68			42	69
			S特		20		63		22		65
			特進		20		58		22		60
			文理選抜		18	33	54		19	34	56
			文理進学		17	31	51		18	32	53
			保健医療		17	31	53		18	32	55
			総合進学		16	29	48		17	30	50
	アート		16	28	50		17	30	52		
	浦和実業学園	共	特進選抜		21	38	61		22	40	63
			特進		19	34	58		21	38	61
			選抜α		17	32	55		19	35	58
			選抜		16	31	53		17	33	56
			進学		15	28	50		16	31	54
			総合進学・情報進学		13	23	47		15	28	50
	浦和麗明	共	特選Ⅰ類		23		62		24		64
			特選Ⅱ類		21		60		22		62
			特選Ⅲ類		20		57		21		59
			特進Ⅰ類		18	33	53		19	34	56
			特進Ⅱ類		17	31	50		18	33	53
	叡明	共	特別選抜	13	22		61	14	23		63
			特別進学Ⅰ類	13	20		58	14	21		60
			特別進学Ⅱ類	12	19		56	13	20		58
			進学Ⅰ類	11	18		53	12	19		55
			進学Ⅱ類	10	17		51	11	18		53
			進学Ⅲ類			30	49	10	17	32	51
			情報科			29	48	10	17	31	49
	大宮開成	共	特進選抜先進		23		69		23		70
			特進選抜Ⅰ類		22		66		22		67
			特進選抜Ⅱ類		21		64		21		65
			特進選抜S		20		62		20		63
	開智	共	Tコース				71				72
			Sコース				68				70
			Dコース			40	66			41	68
	春日部共栄	共	選抜				67				70
			特進E系				64				67
			特進S系				60				64
	埼玉栄	共	α	13	22	39	65	13	22	39	66
			S	12	20	35	60	13	21	36	62
			特進	10	17	32	53	11	18	33	56
			保健体育	9	16	28	50	10	17	30	55
	栄北	共	特類選抜		22		64		23		66
特類				20		61		21		63	
Ⅱ類				18		58		19		60	
Ⅰ類				16		55		17		57	
栄東	共	東・医			35	70			35	71	
		アルファ			35	68			35	69	
秀明英光	共	特別進学			27	-			29	-	
		国際英語			26	-			27	-	
		総合進学			23	-			24	-	
淑徳与野	女	選抜A				69.5				70.5	
		選抜B				69.0				70.0	
		選抜C				68.0				69.0	
		S類				65.5				-	

【資料E】主要私立高校2019年度推薦基準一覧②

※基準緩和措置などもあります。

私立高校		学科・コース	単願				併願				
			3科	5科	9科	偏差	3科	5科	9科	偏差	
埼玉県	昌平	共	IB		21	37	66		21	37	68
			T特選		23	40	69		23	40	71
			特選		21	37	66		21	37	68
			特進・特進アスリート		21	37	63		21	37	65
			選抜・選抜アスリート		21	37	61		21	37	62
	獨協埼玉	共	普通		21	36	63		23	38	66
	花咲徳栄	共	理数選抜・特別選抜		21		62		23		65
			文理選抜		20	36	58		21	38	61
			選抜進学		18	31	55		20	36	58
			特別進学		17	30	53		19	33	56
			総合進学・食育実践(単のみ)		16	29	51		18	31	54
	武南	共	特進		20		66		20		67
			選抜				62				63
			進学		18		57		19		59
	東京都ほか	足立学園	男	探究		23		63		24	
文理					20		58		22		60
総合					18		54		20		56
岩倉		共	S特	13	21		60	13	22		62
			特進	11	18		53	11	19		55
			総合	10	15	29	-	10	16	30	-
			運輸	10		30	-	11		31	-
上野学園		共	特別進学α		21		58		22		60
			特別進学β		18		54		19		56
			総合進学	10	16	28	47	11	17	29	49
北豊島		女	特進	11	17		58	11	17	32	58
			総合	9		26	50	9	15	26	50
			国際英語	英4			英57	英4		28	英57
共栄学園		共	特進		20		60		21		62
			普通		17		51		18		53
京華		男	S特進		23		65		24		67
			特進	12	20		60	13	21		62
			進学	10	17		56	11	18		58
京華商業		共	商業	9		25	-	10		27	-
京華女子		女	特進	12	20		60	13	21		62
	文理		10	16	28	53	11	17	29	55	
駒込	共	理系先進・国際教養	14			64	14			68	
		特S	14	22		64	15	23		68	
		S	12	20		60	13	21	36	64	
桜丘	共	特待クラス		22		62		22		62	
		特進クラス・CLクラス		20		53		21		55	
順天	共	理数選抜		23		65		24		67	
		英語選抜		22		63		23		65	
		特進選抜		22		63		23		65	
潤徳女子	女	特別進学	11	18		53	12	20		56	
		総合進学	9		26	46	10		28	48	
		美術デザイン			26	46			28	48	
東京成徳大学	共	特別進学		22		62		23		64	
		進学選抜		20		58		21		60	
		進学		18		54		19		56	
文京学院大学女子	女	理数・国際教養(Tクラス)	12	20		56	12	20		58	
		理数・国際教養(Aクラス)	10	17		50	10	17		52	
武蔵野	共	特進ステージ	10	17	29	-	11	18	30	-	
		進学ステージ	8	13	24	-	9	14	25	-	
西武台千葉	共	特選		19	37	62		20	38	63	
		進学		16	30	53		18	33	56	

➤ 特待生制度 ◀

「私立高校に魅力は感じるが、経済的負担を考えると… 特待制度を活用できないか？」というお声は毎年聞かれます。確かに、特待生になれば、公立高校と大差ない学費で、3年間理想的な学習環境に身を置くことができますね。実際のところ、少子化や不景気の影響で、私立高校側も特待生制度や奨学生制度の拡充を図っています。しかしながら、特待生ともなれば、常に成績上位にいなければなりませんし、最難関大学への合格も期待されますので、進学に対するしっかりとした目的意識が必要になることは言うまでもありません。そして、何よりその基準(目安)はかなり高く、偏差値70近い受験生でないと、特待生にチャレンジすることが難しいというのが現状です。

ただ、以下の学校は「狙い目」というか、検討の価値があるといつてよいのではないのでしょうか。比較的基準が低く、学校自体もしっかりしているので、ご興味があれば、ぜひ相談に出向いてみてください。

浦和麗明

【奨学生Ⅰ】 入学金・授業料・施設設備費・環境維持費給付 ➡ 進級時継続審査

[基準] 単願62・併願64(9月以降の北辰偏差値2回平均)で、欠席10日以内

【奨学生Ⅱ】 入学金・授業料半額・施設設備費給付 ➡ 進級時継続審査

[基準] 単願60・併願62(9月以降の北辰偏差値2回平均)で、欠席10日以内

上野学園

【特待S】 入学金・施設設備資金免除+授業料月額1万円のみ(年間12万円)

[基準] 単願65・併願65(9月以降の北辰偏差値, 併願は2回以上)で、入試成績90%

【特待A】 入学金免除+授業料月額2万円のみ(年間24万円)

[基準] 単願62・併願63(9月以降の北辰偏差値, 併願は2回以上)で、入試成績80%

潤徳女子

【学力特待Ⅰ種】 入学金・施設費・授業料全額免除(単願=教育充実費半額も免除)

[基準] 単願=評定5科21 or 北辰偏差5科58, 併願=評定5科22 or 北辰偏差5科60

【学力特待Ⅱ種】 入学金・施設費全額+授業料半額免除(単願=教育充実費半額も免除)

[基準] 単願=評定5科20 or 北辰偏差5科56, 併願=評定5科21 or 北辰偏差5科58

どれもマイنز生にとっては、通学エリア内にある学校です。例えば、潤徳女子高等学校を見ると、偏差値60(併願)で学力特待Ⅰ種の資格をもらえるわけですが、偏差値60と言えば越ヶ谷高校や川口市立高校に合格するかしないかというレベルですので、これら公立高校の併願校として検討してみてもよいかもしれません。単願にすれば、基準はさらに下がり、越谷南高校や春日部女子高校、春日部東高校との比較検討対象になります。あくまでも私見ですが、大学受験を考えた場合、公立高校であれば予備校通いがほぼ必須… 特待生であれば「学校の期待の星」として、予備校に通わずとも手厚いケアを受けることができます。プレッシャーとモチベーション維持という苦労はありますが、どちらがよいかは歴然としているのではないのでしょうか。

3 2019年度入試における私立高校の主な変更点

2019年度(平成30年度)私立高校入試に至るまでの変更点は以下のとおりです。ここ数年見られた男女共学化・新校舎建設・中学校新設などのブームも落ち着きを見せ始めていますが、一方では、不景気や公立高校授業料無償化の影響で募集に苦慮する私学が増えています。そのような中、各私立高校はそれぞれの特色を出すために、コース改変や完全中高一貫化(=高校募集停止)等によるレベルアップを図ってきています。

(1) 2019年度入試

学校名	変更内容
浦和ルーテル	■ 大学附属化 ⇨ 青山学院大学の系属校へ
浦和麗明	■ コース改編 ⇨ 進学・保育進学募集停止 = 特選Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ + 特進Ⅰ・Ⅱ
栄東	■ 入試方法変更 ⇨ 英語にリスニング問題導入
昌平	■ コース新設 ⇨ IBコース(インターナショナル・バカロレア)
細田学園	■ 中学校新設
駒込	■ コース改編 ⇨ スーパーアドバンスを特S, アドバンスをSコースとして募集
東洋女子	■ 制度新設 ⇨ 無償化プラン1000(世帯年収1,000万円までの家庭に授業料補助)

(2) 2018年度入試

学校名	変更内容
浦和学院	■ I 類改編 [リーダーズ・サイエンス・プログレス・アブソルート ⇨ T特・S特・特進]
浦和麗明	■ 男女共学化 ■ 調理パティシエコース募集停止
足立学園	■ 学科改編 [文理科・普通科 ⇨ 普通(探究・文理・総合)] ■ 推薦試験を小論文に変更
千代田女学園	■ 校名変更 ⇨ 「武蔵野大学附属千代田高等学院」(共学クラス新設)
中村	■ 高校募集再開 ⇨ 国際科のみ(定員20名、1年間の留学が必須)
日本橋女学館	■ 校名変更 ⇨ 「開智日本橋学園」(高校募集は帰国生のみとなります)

(3) 2017年度入試までの大きな動き

学校名	変更内容
細田学園	■ 食物科募集停止
駒込	■ 国際教養コース・理系先進コース新設
叡明	■ 校名変更 ■ 校地移転
栄北	■ 自動車科募集停止
栄東	■ アドバンスコース募集停止
淑徳与野	■ 校地移転 = さいたま新都心駅近くの淑徳与野中学校隣接地へ
花咲徳栄	■ 学科改編 [食物科 ⇨ 食育実践科(文科省「スーパー食育スクール」指定)]
岩倉	■ コース改編 [機械科・商業科募集停止] ■ 男女共学化
麹町学園女子	■ 高校募集再開 ⇨ 東洋大学への進学を前提とした「東洋大学グローバルコース」
芝浦工大	■ 校名変更 ⇨ 芝浦工業大学附属 ■ 校地移転 ⇨ 板橋から江東区豊洲へ移転
東洋大京北	■ 校名変更 ■ 校地移転 = 北区赤羽から文京区白山へ ■ 男女共学化
安田学園	■ 男女共学化

主要私立高校併願入試日程[男子]

※偏差値は平成30年度入試の北辰偏差値合格者平均をもとに作成してあります。

SS	公立高校	1月22日以前	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日以降
70	浦和 大宮	17 市川				29 栄東[特待]
69					川越東[特待]	
68	市立浦和		栄東		栄東	
67	春日部					
66						
65	蕨 越谷北 不動岡		川越東			25 川越東 25 細田学園[奨学]
64	浦和西	18 芝浦工業大柏 17 専修大松戸 17 麗澤	開智 城北埼玉 淑徳 獨協埼玉	開智 城北埼玉 獨協埼玉	開智 淑徳	
63						
62	川口北 越ヶ谷		順天			
61				浦和ルーテル 大宮開成	大宮開成	
60	大宮北 浦和南			桜丘		
59	川口市立		春日部共栄		春日部共栄	
58	春日部東 越谷南 与野					
57		17 流通経済大柏	開智未来 東洋大京北 駒込 桜丘 昌平 淑徳巢鴨 足立学園 帝京 東京成徳大 成立学園 埼玉栄	開智未来		25 開智未来
56	浦和北 草加	17 二松学舎大柏		駒込 昌平 武南		25 武南
55		18 中央学院			成立学園	
54	南陵 杉戸			埼玉栄		25 埼玉栄
53	川口 大宮南		栄北	栄北 京華		25 栄北
52	越谷西 草加南	17 西武台千葉	浦和麗明	浦和麗明		
51	久喜北陽 草加東 岩槻		細田学園 叡明	細田学園 叡明 西武台	叡明 西武台	
50						
49	浦和東				浦和実業	
48		17 日体大柏	浦和実業 花咲徳栄 共栄学園 駿台 浦和学院 修徳 上野学園	浦和実業 花咲徳栄 浦和学院	浦和実業	29 花咲徳栄
47					浦和学院	
46	三郷北 鷺宮 大宮東 川口東		岩倉			
45	草加西 庄和 三郷北					
44	松伏 川口青陵		国際学院 武蔵野	京華商業 国際学院		
43						
42	白岡 宮代	17 我孫子二階堂		秀明英光	秀明英光	
41	八潮南 栗橋北彩					
40	八潮 幸手桜 吉川美南 三郷 岩槻北陵					

① 私立併願校は、以下のように選ぶのが理想的です。
 →公立志望校と同程度の私立高校1校+公立志望校よりもやや学力の高い私立高校1校

② 表は偏差値をもとに作成しましたが、内申次第でより上位校を受験できる可能性もあります。

主要私立高校併願入試日程[女子]

※偏差値は平成30年度入試の北辰偏差値合格者平均をもとに作成してあります。

SS	公立高校	1月22日以前	1月22日	1月23日	1月24日	1月25日以降
70	大宮	17 市川				29 栄東[特待]
69	浦和一女					
68	市立浦和		栄東		栄東	
67				淑徳与野		
66						
65	越谷北	17 専修大松戸	開智	開智	開智	25 細田学園[奨学]
64	不動岡 蕨					
63	浦和西	17 麗澤	獨協埼玉 順天 淑徳	獨協埼玉 江戸川女子	淑徳	
62	川口北			大宮開成	大宮開成	
61	越ヶ谷			桜丘 浦和ルーテル		
60	大宮北		春日部共栄		春日部共栄	
59	浦和南					
58	川口市立		日大豊山女子 東洋大京北			
57	春日部東	17 流通経済大柏	開智未来	開智未来		25 開智未来
56	春日部女子					
55	越谷南 与野		淑徳巣鴨 桜丘 昌平 帝京 十文字	武南 昌平		25 武南 25 十文字
54	浦和北		東京家政大 埼玉栄 栄北 成立学園 東京成徳大	東京家政大 埼玉栄 栄北 文京学院大	成立学園 文京学院大	25 埼玉栄 30 栄北
53	草加	17 二松学舎大柏 18 中央学院				
52	川口	17 西武台千葉				
51	大宮南		浦和麗明 細田学園	武蔵野千代田 浦和麗明 細田学園		
50	越谷西 草加南	17 日体大柏	叡明 京華女子 共栄 東洋女子	叡明 京華女子 西武台	叡明 西武台	
49	久喜北陽	17 聖徳大附女子	浦和美業 上野学園 花咲徳栄 北豊島 駿台 浦和学院 修徳 岩倉	浦和美業 花咲徳栄 浦和学院	浦和美業 浦和学院	29 花咲徳栄
48	久喜					
47	岩槻					
46	草加東					
45	浦和東					
44	越谷東					
43	鷺宮					
42	大宮東 川口東					
41	三郷北					
40	庄和 草加西		潤徳女子 国際学院 武蔵野	愛国 潤徳女子 国際学院		
39	松伏					
38						
37						
36						
35						
34						
33						
32						
31						
30						
29						
28						
27						
26						
25						
24						
23						
22						
21						
20						
19						
18						
17		17 我孫子二階堂	瀧野川女子 淑徳SC 安部学院	瀧野川女子 秀明英光	瀧野川女子 秀明英光	
16						
15						
14						
13						
12						
11						
10						
9						
8						
7						
6						
5						
4						
3						
2						
1						

① 私立併願校は、以下のように選ぶのが理想的です。
 →公立志望校と同程度の私立高校1校+公立志望校よりもやや学力の高い私立高校1校
 ② 表は偏差値をもとに作成しましたが、内申次第でより上位校を受験できる可能性もあります。

【資料G】埼玉県内主要高校の現役進学率(平成29年3月卒業者)

	[私立高校現役進学率=75.6%]			[公立高校現役進学率=50.5%]		
	私立高校	大短進学率	国公立進学	公立高校	大短進学率	国公立進学
01	慶應義塾志木	99.6%	0名	越ヶ谷	91.3%	31名
02	早稲田大学本庄	99.1%	0名	川口北	85.2%	54名
03	淑徳与野	91.2%	37名	越谷北	85.2%	54名
04	立教新座	90.9%	12名	市立浦和	84.9%	80名
05	星野	90.6%	51名	市立大宮北	84.5%	8名
06	昌平	86.6%	36名	蕨	84.0%	48名
07	浦和学院	86.0%	9名	春日部東	83.7%	9名
08	獨協埼玉	85.6%	12名	越谷南	83.5%	7名
09	大宮開成	85.0%	51名	市立浦和南	82.6%	11名
10	開智未来	83.8%	18名	春日部女子	82.2%	15名
11	浦和ルーテル学院	83.6%	1名	浦和西	81.0%	41名
12	栄北	81.6%	7名	杉戸	78.0%	11名
13	浦和明の星女子	81.4%	32名	不動岡	77.2%	51名
14	花咲徳栄	79.2%	18名	久喜	76.9%	1名
15	開智	77.7%	106名	浦和北	76.8%	4名
16	武南	75.9%	14名	草加	76.4%	7名
17	川越東	74.7%	37名	与野	76.3%	4名
18	埼玉栄	73.4%	4名	川口市立	75.3%	7名
19	国際学院	71.5%	2名	浦和第一女子	74.1%	68名
20	浦和実業学園	71.4%	6名	大宮南	70.2%	2名
21	栄東	71.3%	108名	南稜	69.0%	2名
22	細田学園	71.2%	3名	越谷西	68.9%	0名
23	春日部共栄	70.8%	25名	大宮	67.9%	111名
24	西武台	63.7%	2名	川口	67.1%	1名
25	秀明英光	55.0%	0名	草加南	61.5%	1名
26	叡明	53.5%	3名	浦和東	59.9%	0名
27	城北埼玉	51.3%	17名	岩槻	56.0%	1名
28	浦和麗明	42.2%	1名	春日部	52.0%	90名

上表は、埼玉県内でマイズ生の通学可能圏内にある私立高校・公立高校を中心とした、平成28年3月卒業生の「大学・短大現役進学率」および「国公立大学現役進学者数」をランキング形式でまとめたものです。現役合格がすべてではありませんが、学校選びの一指標にはなるかと存じますので、参考にしてください。

さて、私立高校の魅力の1つは大学合格実績でしょう。ここで、大学通信による「10年前と比べて合格者が増えている学校上位150校」のうち、皆さんに関係のある学校を紹介しておきたいと思います。

大宮開成(1位)、広尾学園(2位)、本郷(12位)、昌平(24位)、開智(29位)、國學院(40位)、淑徳巣鴨(41位)、城北(42位)、淑徳(43位)、順天(58位)、桜丘(60位)、錦城・駒込(61位)、東京成徳大(72位)、越ヶ谷(76位)、成立学園(80位)、京華(91位)、安田学園(96位)、和光国際(101位)、かえつ有明(103位)、大宮(109位)、埼玉栄(119位)、浦和(131位)、芝浦工業大柏(134位)、淑徳与野(141位)、二松学舎大柏(147位)、蕨(149位)

大学合格実績がしっかりしている＝教育環境がよいということに他なりません。皆さんの志望校はありますか？

私立高校授業料減免制度

1 就学支援金

2010年4月から正式に「公立高校授業料無償化」がスタートし、公立高校においては、授業料を徴収しないことになりました。私立高校に通う場合でも、「就学支援金」として、公立高校の場合と同額の国費補助を受けることができます。こうした国の動きを受け、私立高校の授業料負担も、世帯収入に応じて軽減あるいは実質無償化する自治体も出てきました。ただ、この私立高校授業料減免制度は、それぞれの都や県によって対象や助成額が異なりますので注意が必要です。なお、ご存知のとおり、当該制度は2014年4月から変更され、いわゆる「所得制限」が設けられました。新制度では、「市町村民税所得割額」が304,200円（年収910万円程度）未満の世帯に対して、支給されることになっています。

【就学支援金新制度概要】

	公立進学者	私立進学者
年収250万円未満	¥118,800支給	¥297,000支給
年収350万円未満	¥118,800支給	¥237,600支給
年収590万円未満	¥118,800支給	¥178,200支給
年収910万円未満	¥118,800支給	¥118,800支給
年収910万円以上	支給対象外	支給対象外

こうした制度変更の動きは、「低所得世帯の私立高校授業料負担軽減」が目的であると言われるように、確かに、以下のようになり厚くなりました。

□年収250万円未満 = ¥237,600 [旧制度] から ¥297,000 へ
 □年収350万円未満 = ¥178,200 [旧制度] から ¥237,600 へ
 □年収590万円未満 = ¥118,800 [旧制度] から ¥178,200 へ
 ちなみに、この「就学支援金」は、学校設置者（都道府県や学校法人）が受け取り、該当者の授業料に充ててられています。生徒本人や保護者が直接受け取るものではありません。

2 埼玉県私立高等学校等父母負担軽減事業補助制度

埼玉県では、埼玉県内の私立高校に通学する生徒の経済的負担を軽減するため、県の単独補助として、授業料軽減補助および入学金軽減補助を実施しています。

《対象》 県内の私立高校生（生徒・保護者とも県内居住）

《条件》 世帯年収が609万円未満の家庭

なお、埼玉県の補助制度についても、平成29年度から補助内容が拡大され、授業料が実質無償となる区分が変わることになりました。

太枠内が平成29年度より増額となった部分です。授業料補

助は国の就学支援金と合わせて¥375,000となりますが、これは埼玉県内の私立高校授業料の平均値とされています。この値が上限となり、授業料がそれを下回る場合は、「授業料－就学支援金」で補助額が算定されます。

これにより、公私間の学費格差は大幅に改善されたと言えますが、県外私立に進学した場合は対象外となるため、不公平感はありません。

【埼玉県の補助制度概要】

	授業料	入学金	施設費
年収250万円未満	¥78,000	¥100,000	¥200,000
年収350万円未満	¥137,400	¥100,000	¥200,000
年収500万円未満	¥196,800	¥100,000	¥200,000
年収590万円未満	¥196,800	¥100,000	対象外
年収609万円未満	¥256,200	¥100,000	対象外
年収609万円以上	対象外	対象外	対象外

なお、埼玉県の生徒が、千葉県私立高校に進学することになった場合は、千葉県の授業料減免制度を申請することができます。

【千葉県の補助制度概要】

	私立進学者への授業料補助
年収350万円未満	授業料－就学支援金＝補助額
年収640万円未満	授業料2/3－就学支援金＝補助額
年収640万円以上	就学支援金のみで県の補助はなし

3 駒込高校授業料減免制度

東京都の授業料減免制度は、対象が都内生に限られるため、埼玉県生が東京都の私立高校に進学する場合、減免制度を利用することはできません。が、唯一、駒込高校が、他県在住の生徒のために、学校独自の授業料減免制度を打ち出しています。

【駒込高校の補助制度概要】

	駒込高校生への授業料補助
年収760万円未満	授業料－就学支援金＝補助額

当該制度は、**単願受験対象**で1クラス分という人数制限がありますが、駒込高校は受験者数も合格実績も伸びている人気校ですので、学力レベルが合っていれば、検討する価値は大いにあると思います。

なお、2019年度入試では、東洋女子高校が「無償化プラン1000」というものを新設します。世帯年収1,000万円未満であれば、東京都外の生徒でも授業料が無償となる助成金制度だそうです。

